



ボランティア参加・理事会報告	P1
JICA 青年海外協力隊が見た世界	P2
JICA 青年海外協力隊が見た世界	P3
イベント情報	P4



ASTC アジアトライアスロン選手権 2021 の

ボランティアに参加しました！！

4月24日・25日に行われたアジアトライアスロンに、廿日市市国際交流協会のボランティアのみなさまが大会当日のボランティアスタッフとして参加されました。コロナ禍での大会開催により、通常とは異なった雰囲気の中ではありますが、選手のみなさまのサポートに携わることができ、貴重な体験となりました。ご協力いただきましたボランティアのみなさま、ありがとうございました！！



当日は離れた場所からでしたが、選手の方々の熱気を感じました！！

「令和3（2021）年度第1回廿日市市国際交流協会理事会」 を開催しました。

2021年5月18日（火曜日）に、「令和3（2021）年度 第1回廿日市市国際交流協会理事会」を開催致しました。当日は松本市長にもご来席いただき、廿日市市国際交流協会の今後の発展に向けて励みになるお言葉をいただきました。また、ご出席いただきました理事・監事の方々に2020年度の事業報告及び収支決算・2021年度の事業計画及び予算についてご審議いただきました。2021年度もご承認いただきました事業計画に基づき、みなさまの意見を取り入れながら、事業に取り組んでまいります。会員のみなさまにおかれましては、引き続き、協会運営にご協力いただきますよう、よろしくお願い致します。

ご出席いただきました皆様、ありがとうございました。



JICA 青年海外協力隊が見た世界

～マーシャル諸島編～前編



青年海外協力隊って聞いたことはあるけれど、実際にはどんな国でどんな活動をするの??

このコーナーでは廿日市市出身または廿日市市にゆかりのある青年海外協力隊OBOGの方々に、派遣先でどんなものを見てどんなことをしたのか、実体験に基づく貴重なお話をお聞きます。

第2回目は廿日市市にお住まいで、2011年9月～2013年12月マーシャル諸島に赴任された亀井且博さんにお話をお伺いしました。

《亀井 且博さんプロフィール》

1948年11月安芸高田市高宮町生まれ（72歳）。阿品台在住。大学卒業後広島市に奉職。25年間、衛生研究所勤務で環境・公害関係の調査研究の後、市役所本庁で行政業務に携わる。退職まで環境・公害関係一筋の業務。定年退職後、2年間の公益財団勤務を経て JICA の SV（シニア海外ボランティア）として2011年9月～2013年12月の2年3か月間マーシャル諸島共和国で廃棄物処理管理の指導・助言に携わる。その後も2015年1月～2017年1月と2018年1月～2018年7月の計2回、同様に JICA・SVとしてブータンで活動。趣味は登山。若い頃にはヒマラヤ遠征、ニュージーランド遠征等ハードなクライミングに明け暮れ、今は里山歩きや藪歩きをのんびりと楽しんでいる。3人の子供たちは独立し妻と2人で暮らしている。



亀井 且博さんインタビュー☆前編☆

Q： 青年海外協力隊に申し込んだきっかけはありますか？どうして青年海外協力隊になろうと思ったのですか？

亀井さん： 現職時代に携わった国際環境協力の業務で、開発途上国の環境の現状を認識し、人材の育成のため技術者の研修受け入れ等を行いました。しかし、指導の原点は現地であり、実際の現場で現地の人と触れ合いながらの指導・助言が重要であると思い、JICA・SV（シニア海外ボランティア）として、現地で暮らしながら指導・助言することにしました。

Q： 派遣されるまでの研修などで、大変だったこと、思い出深い出来事がありますか？

亀井さん： 派遣前の研修は2か月間、長野県駒ヶ根訓練所での若い JICA 協力隊隊員と共同の寮生活でした。その際には毎日、若い隊員のパワーに圧倒されるとともに刺激を受けました。

Q： 派遣先が決まった時、どのように感じましたか？

亀井さん： 当初の希望はブータンでしたが、マーシャル諸島共和国が赴任先となったため、少なからず複雑な気持ちでした。しかしながら、太平洋戦争終了までは日本が委任統治していたことやビキニ環礁の国、「私のラバーさん、酋長の・・・」の歌の舞台であることなどから興味が湧きました。

Q： 現地ではどのような活動をしていましたか？

亀井さん： マーシャル諸島共和国の首都マジュロで、廃棄物処理・管理についての活動を行いました。島中、街中ゴミだらけの状況の改善のため、ごみの分別、家庭用ホイール付き大型ごみ容器の購入予算獲得と購入・輸入そして各戸への配布、ごみ収集・運搬の効率化・定時化、新しいごみ収集車の購入予算獲得と購入・輸入、ごみ埋立地の管理と新規埋立地の建設、リサイクル可能物のリサイクルと海外への売り払い、住民へのごみ問題の普及啓発等々、廃棄物管理のシステムすべてについて助言・指導を行うとともに自らも各種の処理を行いました。

Q: マーシャル諸島とは、どんな国ですか??

亀井さん： 太平洋のまん真ん中（赤道近く、日付変更線近く）にある国で、「真珠の首飾り」とも呼ばれます。多くのサンゴ礁の島々（約 1,200）で構成される面積が霞ヶ浦と同じくらいのミニ国家。平均標高 1.8m（最高地点約 5m）で地球温暖化が深刻な国です。

1919 年から太平洋戦争終了まで国際連盟の委任統治領として日本が統治していました。水爆実験で良く知られるビキニ環礁はこの国の一部です。熱帯海洋性気候で、昼間の気温は 30～32 度、最低気温は 27 度前後で、年中毎日暑い。マーシャルブルーと言われる真っ青な海で、サンゴと熱帯魚がきれいな海。漁業資源が豊富な海洋国で超親日国でもあります。

Q: 現地ではどの言語を使っていましたか?

亀井さん： アメリカ合衆国の影響が強く、公用語は英語。現地の言葉にマーシャル語があり、現地の人々は両方を使っています。私は主として英語、時々簡単なマーシャル語も使っていました。日本語がそのままマーシャル語になっているものが沢山あり興味深い。「エンマン」、「サシミ」、「ショウユ」、「ゾウリ」、「デンキ」、「チョット・マテ」、「バカヤロー」等々。

Q: どんなところに住んでいましたか?また、現地の人々の住居はどんな建物ですか?

亀井さん： 鉄筋コンクリート 2 階建てアパートの 2 階。家族用のアパートで、広いキッチンと超広いリビングダイニング（20 畳くらい）、ベッドルーム（2 部屋）にバスルームとトイレ。総床面積は現在の我が家と同程度でした。現地の人々の住居は鉄筋入りブロック建て平屋が多く、西洋式の生活様式で住居も西洋式。伝統的な住居はヤシやバナナの葉などで造られていましたが、現在では観光用で住んではいません。

Q: 普段の食事はどんな内容でしたか?現地の有名な食べ物がありますか?珍しい食べ物がありましたか?

亀井さん： 日本統治時代の影響が残っているためか、住民の主食は米（日本米）であり、私も毎日、日本と変わらない食事をしていました。ほとんどすべての食品が輸入のため、新鮮な野菜が少なく、冷凍食品が多い。魚はいくらでも取れるので安いです。現地の人々はインスタントラーメン（サッポロラーメン）とバーベキューが大好き。伝統的なココナツミルクで炊いたご飯、ココナツ、パンの実、バナナ料理も時折食べます。

Q: 現地ではどのような服装をしていましたか?現地の方はどのような服装をしますか?

特徴的な民族衣装などあれば教えてください。

亀井さん： 正装は男性はアロハシャツ、女性はムームー。通常は男性はアロハシャツ、半袖ポロシャツ、T シャツ、で短パンまたは長ズボン。女性はほとんどムームー。通常はサンダル履きで靴はほとんど履きません。伝統的な腰蓑の衣装がありますが、現在は全く見られません。



住民に対してゴミ問題の普及啓発活動を行う亀井さん



世界に誇るマーシャルブルー!

亀井目博さんありがとうございました!!

亀井さんのお話を聞いて青年海外協力隊の活動に興味が出た方は、ぜひホームページ <https://www.jica.go.jp/volunteer/> をのぞいてみてくださいね!! 「JICA 海外協力隊」で検索できます☆彡

来月号では、亀井さんが体験した現地でのエピソードや、派遣前後での心の変化などについてお伺いします♪ お楽しみに(^^)/

イベント情報 2021年6月



日付	内 容	時 間	場 所	対象・定員		参加費	主催
				子供	大人		
3日 17日 (木)	「木曜通訳ガイドボランティア」活動日 ボランティアグループ「木曜通訳ガイドボランティア」の活動日です。活動内容や見学のお問い合わせは事務局まで個別にお願い致します。	9:30 ～ 11:30	廿日市市 市民活動 センター		○ シニア OK	お問 い合 わせ 下 さい	木曜通訳 ガイド ボラン ティア
1日 8日 15日 22日 29日 (火)	「Enjoy English」活動日 自主学習グループ「Enjoy English」の活動日です。活動内容や見学のお問い合わせは事務局まで個別にお願い致します。	9:45 ～ 12:00	廿日市市 市民活動 センター		○ シニア OK	お問 い合 わせ 下 さい	Enjoy English

広島県に緊急事態宣言が発令されたことに伴い、予定しておりました以下のイベントにつきまして、中止が決定いたしました。ご参加を検討されていた皆様には大変申し訳ございませんが、ご理解の程宜しくお願い致します。

【中止】2021年6月4日(金)カープ「わがまち魅力発信隊」事業に伴うカープ観戦

【中止】2021年6月6日(日)「One Day Peace Tour in はつかいち 2021」

また、今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、ご案内しておりますイベントの中止や、活動グループが活動を自粛している場合があります。予めご了承下さいませ。

～やさしい日本語で話してみよう～

日本語教室「言の葉」代表 福田 規子

第5回 擬音語・擬態語、カタカナ語、漢語に注意しよう

「連休中は家でごろごろしていました。」・・・「えっ？何をしましたか」

私たちが何気なく使ってしまう擬音語や擬態語は、外国人にとって理解が難しいものの一つです。日本人の幼児は、「ころころ転がる」「ペンギンがペタペタ歩く」「ふかふかのお布団」など、生活の中で体験しながら身につけていきます。このような擬音語・擬態語は外国人泣かせです。会話の中に挿入されると、それに気を取られて、肝心の内容語が聞き取れない場合もあります。話すときには、できるだけ擬音語や擬態語は使わないようにしましょう。

「マイペースでやってね」・・・「あなたのペースに合わせてくれないの？」

「駅前のマンションに住んでいます」・・・「すごいお金持ちですね！」

外国語のように見えて本来の意味と異なった使い方をしている「和製英語」も要注意です。

また、「ムリョウです」「シュウゴウしてください」などの「漢語」は、日本人なら音を聞いたときに頭の中で漢字に変換して意味を捉えることができますが、漢字の知識が少ない外国人には難しいことです。「ムヨウ」「ショウゴ(ウ)」と聞こえてしまう人もいます。

「お金はいりません」「来てください」の方が分かりやすいですね。

広報などの「書き言葉」や「読み言葉」は、一方向の情報提供ですが、コミュニケーションでの「話し言葉」は双方向です。相手が理解できなかった場合は、伝えたい内容を他の形で言い換えてみましょう。

編集・発行 廿日市市国際交流協会 Hatsukaichi International Association

〒738-0014 廿日市市住吉二丁目2番16号 廿日市市市民活動センター内

TEL (0829)20-0116(火曜～金曜 9時～17時) FAX (0829)30-3113

ホームページ: <http://hia.hatnet.jp/>

e-mail: hia21@mx4.tiki.ne.jp Face book: <https://www.facebook.com/>



HATSUKAICHIINTERNATIONAL



七夕飾りに願いを込めて☆

～七夕と中国のあそびを知らう～

日時：2021年7月3日(土)14:00～15:30 (受付13:45～)

場所：廿日市市市民活動センター 2階 第1研修室

対象：4歳～小学生

参加費：100円 ※家族会員の子どもは無料

定員：15名

持ち物：ハサミ・のり・飲み物

※参加者のみなさまは必ずマスクの着用をお願いします！
また、講座中は換気を十分に行い、参加者同士の距離を取るよう配慮いたします。
今後の新型コロナウイルス感染拡大状況によってはイベントを中止または内容を一部変更する場合があります。
予めご了承ください。

日本でも馴染み深い季節の行事「七夕」。元々は中国から伝わった

「星伝説(織姫と彦星の物語)」が由来となっています。

そんな七夕の由来を中国出身の陳さんから子どもたちにわかりやすくお話していただきます♪

お話のあとは中国のこどもたちの遊びを体験します♪

さいごに七夕飾りを作り、短冊に願いごとを書きましょう。

お一人一本笹を準備しております。

作った七夕飾りは全てお持ち帰りいただけます♪

お申し込み先

廿日市市国際交流協会

TEL: 0829-20-0116

E-mail: hia21@mx4.tiki.ne.jp



LINEでの申し込みOK!

